

# 殿山第二小だより

令和 5年 4月 21日 第3号

枚方市立殿山第二小学校

TEL:050-7102-9044

発行責任者 校長 山本 容子

## 「子ども読書の日」

平成13年（西暦2001年）12月「子どもの読書活動の推進に関する法律」が成立し、その第10条に、4月23日を「子ども読書の日」とすることが定められました。

子どもの読書活動は、子どもが言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力・想像力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身につけていくうえで、欠くことのできないものです。

ある日の新聞記事に、子どもたちが、これからの社会を力強く、そして心豊かに生き抜く力（能力）として、次の3点の力（能力）を身につけていくことが大切であると述べられていました。

1. 学んだ知識を活用して考える力。
2. 自分の考えを表現する力。
3. 自分の経験したことを伝える力。

日々の生活の中で、積み上げていかなければならない大切な能力と考えています。

また、「読書」が脳にもたらしてくれる効果の研究もすすめられていて、読書のリラックス効果は科学的に認められているのだそうです。現代社会はなにかとストレスを感じる事が多く、様々なストレス解消法なるものが謳われていますが、その中でも、自分の好きな本に親しむことができると、心拍数や筋肉の緊張状態計測数値が、68%も減少したという結果が得られたそうです。このようなことから、読書のストレス軽減効果は、「ビブリオセラピー（読書療法）」として実用化されているということです。



読書に親しむことで、知識が増え、見識（物事の本質を見通すすぐれた判断力）が広がり、想像力が増してきます。同時に、語彙力を養うことができ、延いては、人と人とのコミュニケーション能力が高まることになっていきます。人の気持ちを想像し、自分の想いを伝え合う良好な人間関係を築いていくための大切な力を身につけていける一助になっていくものと思います。



本を読む子は

やさしい気持ちが

心にたまる

言葉がいっぱい

心にたまる

知識がいっぱい

心にたまる

正しい力が

心にたまる

楽しい世界が

心にたまる

（ある小学校の図書室に

掲示されていた言葉です。）

ゴールデンウィーク中に素敵な本との  
出会いがあるといいですね。